



## 関西STS連絡会主催

### 福祉有償運送（セダン等含む）運転者

### インストラクター養成講座講習会

## 「さわやか」より二名受講

### 北九州市地域福祉振興協会より命じられる

道路運送法七九条の法律に  
基づき福祉有償運送の「登録」  
に向け「さわやか」も準備を  
進めています。運転手には福  
祉有償運送運転者講習が義務  
付けられています。それに伴  
ない、各地域で必要になると  
思われている指導者のための  
「インストラクター養成講習  
会」《四月二十八日・大阪市浪  
速区》に「さわやか」から、  
山田と岡が参加しました。こ  
れは関西STS連絡会の主催  
で行なわれた国土交通省認定  
講習で、私たちと大阪府及び  
近畿各府県より三六名の参加  
がありました。

講習の内容は、

- ①道路運送法七九条の理  
解
- ②認定講習要項
- ③セダン車両の乗降、介助  
実技
- ④インストラクター心得  
などです。

**STSとは？**  
STSとは、スペシャル・  
トランスポート・サービスの  
略で、「高齢者・障害者など  
外出の困難な人が、通院・買  
い物・観光など目的は多種多  
様ありますが、日常生活の移  
動手段として、リフト付車両  
などによる、目的地までの介  
助も含めたドア・ツー・ドアの  
個別移送・移動を行うサービス」  
のことです。

## 第19回 移送サービス研究協議会

### カンカンガクガク！

### 移送サービス徹底大討論

二月二十五日（日）に、第  
十九回移送サービス研究協議  
会が東京で開催され、「さわ  
やか」から山田・岡・江頭が  
出席しました。全国より約一  
〇〇名の参加者がありました。  
午前は三つの分科会、そし  
て午後の全体会は、四人のパ  
ネリストを囲んでの討論会で

またその中で、「利用者の  
声を聞く」ということで、「自  
立センター・OSAKA」の  
藤井規之氏が「移動の自由」  
と題してお話されました。藤  
井氏は、今、自分の意思で動  
かせるのは、目とわずかに足  
の一部と知能だけです。  
お話は、パソコンの音声を使  
っておこなわれました。

次に、大阪府の健康福祉部  
の中村課長が、大阪府の取り  
組みとして、全府下で六つの  
ブロックで運営協議会が設立  
されており、府下をほとんど  
カバーして福祉有償運送を展  
開しているとのことでした。  
また福祉車両だけではまった  
く数が足りないのです、今後は  
セダン型も増やしていく方向  
だとの話を伺いました。

後半は屋外  
で介助やアイ  
マスクを使っ  
ての介助され  
る側の体験を  
させていただきました。  
福祉車両やセダン車両も使っ  
ての乗降介助実技も行なわれ  
ました。



道路運送法八十条許可団体  
（さわやか）の運転者が認定  
講習の代わりに受講する講習  
として「代替講習」がありま  
すが、現在内容や時間などが  
検討されています。また、「ブ  
ラッシュアップ講習」（二年  
毎の更新時に行なう講習）も  
検討中です。

島津淳氏が、景気低迷にあえ  
ぐ北海道の福祉有償運送の  
実態を報告され  
ました。過疎化  
が進むうえに市  
町村合併で面積  
が広くなり、満  
足りなく福祉サ  
ービスを提供す  
ることができな  
くなっている現  
状を話されました。  
またテレビな  
どに取り上げら  
れた夕張市の透

【第二分科会】  
今、問われる移動の権利  
— 昨今の行政施策の相—  
第二分科会は、講師の話をお  
聞きしながら質問をして進行  
していききました。最初は、北  
海道・北星学園大学助教授の



析患者は、「隣の岩見沢市ま  
で、七〇キロの道のりを  
マイクロバスで送迎している」  
と大変な窮状であるというこ  
とを教えていただきました。  
続いて杉並区役所保健福祉  
部管理課の齋藤明代氏が、移  
送サービスの配車や相談業務  
などを行なうセンター設立に  
向けての検討事項や進行状況  
を報告されました。  
【全体会】

### 移送サービスの現状と 将来のあり方

「カンカンガクガク！移送  
サービス徹底大討論」と銘打  
って行なわれた討論会でした。  
パネリストは、東京ハンディ  
キャブ連絡会代表 阿部 司  
氏、同副代表 荻野陽一氏、

首都大学東京都市  
環境学部 教授 秋  
山哲夫氏、DPI（世  
界障害者協議会）  
日本会議 今福義  
明氏でした。  
移送サービスの  
現状と将来のあり  
方について討論が  
行なわれました。  
（裏面につづく）



(前面からのつづき)  
議題としては

▼移送サービスは公共交通になるのか?

▼福祉有償運送に二種免許は必要か

▼利用者のニーズについて

▼移送サービスとバリアフリーについて

▼移送サービスは公共交通か??

「移送サービスは公共交通か?」という議題の中で、「公共交通とはいえないのではないか」

「講習会は安全運転というレベルではなく、利用者の安全輸送のためという、ひとつ上の講習ということを理解して欲しい」

## 第7回 移送サービス研究協議会

見て、聞いて、考える  
共同配車センター

### 世田谷区

### 共同配車センター 見学

平成十九年二月二十四日(土) 十三時から、世田谷区の共同配車センターの見学会があり、「さわやか」より山田、岡、江頭の三名が参加しました。

平成十八年に世田谷区の補助事業として「つくば観光交通」が、年間八百万円の補助金で事業をはじめました。事務所は、「八幡山高齢者



「公共交通でないのに講習までする必要はあるのか?」

「二種免許のタクシーも公共交通とは言えないのではないか」

「講習会は安全運転というレ

ベルではなく、利用者の安全輸送のためという、ひとつ上の講習ということを理解して

いて欲しい」

など、普段感じていることや矛盾していると思うことなどをパネリストを中心に活発に意見を出し合いました。



## 春の風物詩?

### 黄砂にご注意

### 黄砂の飛来でアレルギーが悪化

#### 黄砂とは???

黄砂は、主として中国の乾燥地帯(ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠など)や黄土地帯で強風(偏西風)により吹き上げられた多量の砂塵が上空の風に運ばれて、日本で降下する現象をいいます。黄砂についてはここ数年来、

我が国への飛来回数も増加しています。

#### 黄砂とアレルギーの関係

黄砂の粒子は直径0.1-1mm以下の細かい土の砂粒ですから、気道を刺激すると、咳が出ます。喘息があると、発作の悪化因子になります。アレルギー性鼻炎やアレルギー性

結膜炎も、黄砂によって悪化します。黄砂が皮膚につくと、乾燥肌や皮膚を刺激し、アトピーの原因になることがあります。

#### 誰にでも出来る黄砂対策

- \* 三月から五月まで黄砂が多く、特に四月に多いので、その時期には天気予報に注意する。
- \* 黄砂の多い時期には外出を控える。
- \* 花粉症対策と同様に、メガネやマスクを使用する。
- \* 洗濯物にも注意。黄砂の多い日には、干した洗濯物に黄砂がついている可能性大

などが対策として挙げられます。

黄砂について少しでも知っていれば対策も可能です。黄砂そのものが、どれだけアレルギーに悪影響があるのかは個人差が多く、正確なデータがないのが現状です。ただ、黄砂の時期にアレルギーが悪くなるのは要注意です。



(インターネットより)

#### 窓口を一本化

共同配車センターとして窓口を一本化することにより、利用者や区役所にとっては利便性があることとなります。

活動・移動支援施設」にあり活動・移動支援施設」にあり現在利用登録者数三百四十五人(四月十二日現在)、加盟事業者二十三団体が登録し、事業を展開しています。センターの運営体制は、センター長、相談員、配車係りで構成されており、主な業務としては、①配車②相談③研修となっています。

問題点として、利用料金が事業所によって違うので、いずれは問題が起こるのではないのでしょうか。(現在は複数の事業者を使っている利用者がいない) また、センターの悩みとして、利用者の声が聞こえないという問題が挙がってきています。今後その声をどう聞いていくか、センターが利用者にとって使いやすいものになっていくのか、検証していきたいということです。

